

## 研究主題

「自己やチームの課題解決に向けて自ら学びを調整することで、  
運動の楽しさや喜びを味わうことができる児童の育成  
－見通しをもって学習し、達成状況を評価して次につなげる学習過程と  
デジタルの活用方法の工夫を通して－」

東京都教職員研修センター研修部授業力向上課  
福生市立福生第一小学校 教諭 平井 孝記

### 第1 研究のねらい

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、体育の授業が「楽しい」と感じている児童は、運動が好きであること、また運動が好きな児童は、卒業後も運動したいと考えていることが分かっている。このことから、児童が体育の授業を「楽しい」と感じることは、小学校学習指導要領（平成29年告示）体育の目標で示す「豊かなスポーツライフを実現する（抜粋）」ことの育成につながると考えた。また、同質問紙調査から、「体育の授業が楽しい」と感じている児童の9割以上は、授業の中で、練習法を選択することで、「できたり、わかったり」することがあると回答している。そこで、本研究では、児童が自身の学習方法を計画・実践することができるよう、「自ら学びを調整することができる学習過程の工夫」と「調整のためのデジタルの活用」の二つを軸に研究を進め、主題の実現を目指した。児童が学習の目標や教材について理解し、計画を立て、見通しをもって学習する。そして、その過程や達成状況を評価して次につなげるなど、学習の進め方を自ら調整することで、児童一人一人が自己の課題に応じた学習を進めることができると考える。また、これらの学習を効率よく進めるために、デジタルを活用する。自己の課題に応じた練習を選択できる動画教材や、児童が学習状況を把握することができるデジタルワークシートを開発し、授業以外の場でも活用できるようにする。本領域は「ボール運動ベースボール型」とする。この領域は、攻守を規則的に交代し合い、一定の回数内で得点を競い合うことを課題としたゲームである。そのため、児童は自己やチームの課題を発見する際に、攻守を区別して考えることができる。また、技能を「打つ・捕る・投げる」の三点に焦点化することで、児童は課題を把握し、解決のための学習を工夫することができる。と考える。

### 第2 研究仮説

ボール運動ベースボール型において、児童が見通しをもって学習し、達成状況を評価して次につなげる学習過程とデジタルの活用の工夫をすることで、児童は自ら学びを調整し、運動の楽しさや喜びを味わうことができるであろう。

### 第3 研究の内容と方法

#### 1 基礎研究

- ・ ボール運動ベースボール型の学習内容の系統性や運動の特性等を整理した。
- ・ 本研究における児童の自ら学びを調整する姿を定義付けた。
- ・ ボール運動ベースボール型における「児童が自ら学びを調整する学習過程」を作成した。

#### 2 調査研究

##### (1) 調査の概要

令和5年7月に都内公立小学校1校の第5・第6学年に在籍する児童78人を対象に、ボール運動ベースボール型の学習における楽しさや喜びを感じる事項や自ら学びを調整する学習過程に関する事項、一人1台の学習者用端末の活用に関する事項について意識調査を行った。また、都内公立小学校7校に所属する第5・第6学年の体育科の指導経験のある教員45人を対象に、ボール運動ベースボール型の指導や一人1台の学習者用端末の活用に関する意識調査を行った。

## (2) 児童対象質問紙の調査結果

運動の楽しさや喜びに関する意識調査では、「ボール運動ベースボール型の学習で、楽しさや喜びを味わうときはどのようなときか」という質問において、「チームのよさが分かったとき」「自分で選んだ練習方法をしてできることが増えたとき」「授業の振り返りで自分のがんばったことやできるようになったことに気付いたとき」に肯定的に回答した児童の割合が、90%を超えていた。一方で、「授業の振り返りで、次のめあてを立てることができたとき」は76.3%と比較的低い結果となった。児童が自ら課題を発見し、解決に向けて学びを調整するためには、「チームのよさ」や「できるようになったこと」だけでなく、「自分に合っためあて」や「学習計画」を立てることができた時に、楽しさや喜びを味わうことができるようになることが必要だと考える。

## (3) 教員対象質問紙の調査結果

「ボール運動ベースボール型における指導の難しさを感じることに」に関する質問において、「児童一人一人が自分の課題に応じた学習方法を選択・実践することができるようにすること」が最も高く88.9%であった。また、「児童が一人1台の学習者用端末を利活用して、効果的、効率的に学習を進めるようにすること」が、次に高く77.8%であった。そこで、本研究では、児童が自ら学びを調整する学習過程の工夫とデジタルの活用に関して研究を行っていく必要があると考えた。

## 3 開発研究

### (1) 児童が自ら学びを調整する学習過程（図1）

本研究における、児童の自ら学びを調整する姿は、中央教育審議会答申（令和3年1月26日）をもとに、①学習の目標や教材について理解し、見通す。②自己に合った学習方法を工夫する。③達成状況を評価して次につなげる。と

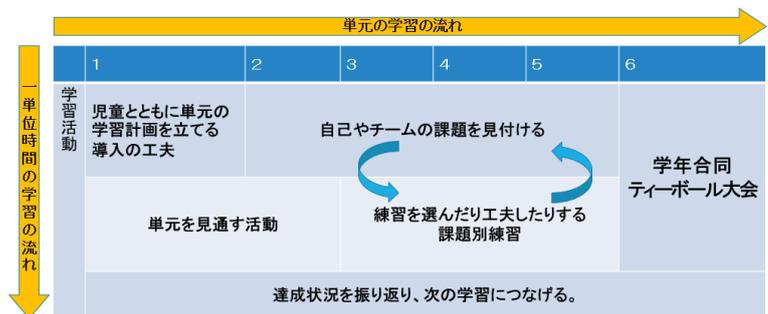


図1 児童が自ら学びを調整する学習過程

定義した。そして、児童の自ら学びを調整する姿を引き出せるよう学習過程の工夫をした。単元の最後に、学年合同のティーボール大会を開催することで、児童はこれまでに身に付けた資質・能力を発揮できる場を設定した。学年合同のティーボール大会に向けて、単元の中盤では、児童が自己の課題に応じた練習を選択し、学びを調整することで、課題発見・解決を繰り返す学習を設定した。そして、これらの学習を充実させるために、単元の最初に児童と共に合意形成を図りながら学習計画を立てることで、見直しをもって学ぶこ

自己やチームの課題解決に向けて自ら学びを調整することで、運動の楽しさや喜びを味わうことができる児童の育成一見通しをもって学習し、達成状況を評価して次につなげる学習過程とデジタルの活用方法の工夫を通して一

とができるようにした。

## (2) 自己の課題に応じた練習を選択できるデジタル教材 (図2)

児童が、「打つ・捕る・投げる」の三つの技能を高めるためのポイントや練習方法を把握するために、動画教材を収録したデジタル教材を作成した。児童が自ら学びを調整し、課題発見・解決を実践していくためには、練習方法を知る必要がある。一方で、様々な練習方法を一つずつ教えていくと時間がかかり、運動量を確保することが難しい。そのため、デジタル教材を作成し、練習方法を一覧で確認できるようにした。児童は、それらの教材から自分の技能を高めるために必要な情報を活用し、自己の課題に応じた練習を実践できるようにした。また、デジタル教材は、授業が始まる前に全児童の学習者用端末にダウンロードしておくことで、授業時間以外でも確認できるようになるため、休み時間や家庭学習等での活用も促した。



図2 自己の課題に応じた練習を選択できるデジタル教材

## (3) 児童・教師が学習状況を把握するデジタルワークシート (図3)

表計算ソフトで作成したデジタルワークシートを全児童の学習者用端末にダウンロードし、学習の見通しや振り返りに活用した。児童一人一人が自己の課題に応じた練習計画を立てることができるよう、練習メニューの一覧を示し、選択できるようにした。「打つ・捕る・投げる」の技能ごとにメニューの色を変えることで、児童が視覚的に自分の取組を分かるようにした。また、自身の練習メニューを立てることが難しい児童に対しては、モデル練習プランを示すことで、児童の実態に応じた練習計画の作成を促した。

第 4 時	第 5 時	第 6 時																																
<p>自分のためて 積極的に守備をとりに行く</p> <table border="1"> <tr><th>オリジナル練習メニュー</th><th>達成度</th></tr> <tr><td>力ためスロー</td><td><input type="radio"/></td></tr> <tr><td>力ためバッティング</td><td><input type="radio"/></td></tr> <tr><td>パートナーキャッチ (フライ)</td><td><input type="radio"/></td></tr> <tr><td>構えてバッティング</td><td><input checked="" type="radio"/></td></tr> </table> <p>【今日の振り返り】 バッティングで狙いを定めて打つことを意識できなかった。次からは塁をつけたい。チームワークがよかった。守備では、自分たちにあった守りができるようになった。</p> <p>【他室から】 今日はよくボールを捉えてバッティングすることができました。狙いを定めて打つことができれば、簡単にヒットが打てると思います。いいことを覚えておきましょう。</p>	オリジナル練習メニュー	達成度	力ためスロー	<input type="radio"/>	力ためバッティング	<input type="radio"/>	パートナーキャッチ (フライ)	<input type="radio"/>	構えてバッティング	<input checked="" type="radio"/>	<p>自分のためて 自分たちにあった守備を見つける</p> <table border="1"> <tr><th>オリジナル練習メニュー</th><th>達成度</th></tr> <tr><td>力ためバッティング</td><td><input checked="" type="radio"/></td></tr> <tr><td>構えてバッティング</td><td><input type="radio"/></td></tr> <tr><td>くるとスロー</td><td><input checked="" type="radio"/></td></tr> <tr><td>パートナーキャッチ (ゴロ)</td><td><input type="radio"/></td></tr> </table> <p>【今日の振り返り】 - 需要表が良かった。 - バッティングでは速く飛ばすことを意識して、バットの先に当たることができました。</p> <p>【他室から】 ポジションは自分たちで決めようというゲームの練習に取り組んでいて、先走者チームに入りたいと思っていました。頑張ってください。試合開始前におどけてくれて、みんな楽しんでいました。</p>	オリジナル練習メニュー	達成度	力ためバッティング	<input checked="" type="radio"/>	構えてバッティング	<input type="radio"/>	くるとスロー	<input checked="" type="radio"/>	パートナーキャッチ (ゴロ)	<input type="radio"/>	<p>自分のためて 最後の試合を全力で楽しむ</p> <table border="1"> <tr><th>オリジナル練習メニュー</th><th>達成度</th></tr> <tr><td>【ティーボールの学習の振り返り】</td><td></td></tr> <tr><td>- 最初のころはチームで練習した時守備の位置も全くわからないまま試合をしたけど、今になって自分たちにあった守備法を見つけて成長を感じた。</td><td></td></tr> <tr><td>- ベースボールがもっと好きになった。</td><td></td></tr> <tr><td>- チームで声掛け合いながら上手く連携が取れたので良かった。</td><td></td></tr> <tr><td>- みんなで協力することの大切さを感じた。</td><td></td></tr> </table> <p>【他室から】 ソフトボール練習会で、たくさん練習することができました。この練習会の感想は、みんながチームの練習と試合の練習を、楽しんでいて、自分たちが練習したことが、試合で活かされています。みんな頑張ってください。</p>	オリジナル練習メニュー	達成度	【ティーボールの学習の振り返り】		- 最初のころはチームで練習した時守備の位置も全くわからないまま試合をしたけど、今になって自分たちにあった守備法を見つけて成長を感じた。		- ベースボールがもっと好きになった。		- チームで声掛け合いながら上手く連携が取れたので良かった。		- みんなで協力することの大切さを感じた。	
オリジナル練習メニュー	達成度																																	
力ためスロー	<input type="radio"/>																																	
力ためバッティング	<input type="radio"/>																																	
パートナーキャッチ (フライ)	<input type="radio"/>																																	
構えてバッティング	<input checked="" type="radio"/>																																	
オリジナル練習メニュー	達成度																																	
力ためバッティング	<input checked="" type="radio"/>																																	
構えてバッティング	<input type="radio"/>																																	
くるとスロー	<input checked="" type="radio"/>																																	
パートナーキャッチ (ゴロ)	<input type="radio"/>																																	
オリジナル練習メニュー	達成度																																	
【ティーボールの学習の振り返り】																																		
- 最初のころはチームで練習した時守備の位置も全くわからないまま試合をしたけど、今になって自分たちにあった守備法を見つけて成長を感じた。																																		
- ベースボールがもっと好きになった。																																		
- チームで声掛け合いながら上手く連携が取れたので良かった。																																		
- みんなで協力することの大切さを感じた。																																		

図3 デジタルワークシート

## 4 検証授業 (令和5年10月実施)

都内公立小学校にて、第6学年「ボール運動ベースボール型」(全6時間扱い)の検証授業を実施した。

### (1) 児童のボール運動ベースボール型の学習に対する関心、意欲の変容について

検証授業の前後にボール運動ベースボール型に関する意識調査を行った。「ボール運動ベースボール型の学習は好きである」という質問結果の平均値に差があるかを検証するため、対応のあるt検定を実施した。その結果、平均値に有意な差が見られた(表1)。

表1 「ボール運動ベースボール型の学習は好きである」

	事前調査	事後調査
平均値	3.05	3.68

$p < 0.01$

否定的から肯定的な回答に変わった理由は表2のとおりである。授業を通して、運動意欲の向上や技能の高まりを感じている様子が見られた。

表2 「ボール運動ベースボール型の学習は好きである」の回答理由

	事前調査 否定的回答の理由	事後調査 肯定的回答の理由
児童ア	バットでボールを打つのが苦手だから	ボールを打って気持ちいいし、楽しいから
児童イ	投げることが好きじゃないから	守備を考えるのが好きだから

## (2) ボール運動ベースボール型における運動の楽しさや喜びを味わうときの変容について

検証授業の前後にボール運動ベースボール型における運動の楽しさや喜びを感じる場面についての意識調査を行った。検証授業後の意識調査から、児童が自ら学びを調整し、学習に取り組むことで、「練習方法が分かったとき」や「めあてを立てることができたとき」等に運動の楽しさや喜びを味わえる児童が増えた(表3)。

表3 「ボール運動ベースボール型の学習で、楽しさや喜びを味わうときは、どのようなときですか」

質問項目	単元前 肯定的回答	単元後 肯定的回答
チームの課題に合った練習方法が分かったとき	84.2%	94.7%
授業の振り返りで、次のめあてを立てることができたとき	76.3%	92.1%
チームのよさに合った作戦を自分で考えることができたとき	84.2%	92.1%

## (3) 自分で計画を立て、学習方法を工夫し、評価して次につなげる授業について

児童に「ティーボールの授業で、自分で計画を立てて、学習に取り組むことで、運動の楽しさや喜びを味わうことができましたか」という質問を検証授業後に実施したところ、肯定的な回答が97.3%であった。回答理由は表4のとおりであり、自分で計画を立てるよさについての記述が多く見られた。

表4 「ティーボールの授業で、自分で計画を立てて、学習に取り組むことで、運動の楽しさや喜びを味わうことができましたか」

児童ウ	自分たちで考えることで自分自身に合った練習法を見つけられたから
児童エ	自分で計画を立てることで練習がより楽しくなった
児童オ	自分で計画を立てると目標ができ、その目標を達成することによって楽しくなるから

## (4) 一人1台の学習者用端末の活用について

デジタル教材に運動のポイントや練習方法を収録することで、児童が自分のタイミングで確認することができた。そのため、教員の一斉指導による練習方法の説明が減り、児童の運動量の確保につながった。また、デジタルワークシート上で練習計画や自身の学びを振り返ることで、児童一人一人が自己の課題に応じた練習計画を作成でき、学習を見通すことに役立った。

## 第4 研究の成果

- ・児童がデジタル教材を用いながら、自己やチームの課題解決に向けて、自ら学びを調整することで、運動の楽しさや喜びを味わうことにつながった。
- ・児童が一人1台の学習者用端末を活用することで、練習方法の理解を深め、練習計画を作成することができた。また、授業外での学びに取り組むことや、運動量の増加にもつながった。

## 第5 今後の課題

- ・「児童が自ら学びを調整する学習過程」について、他領域の実践事例を増やしていく必要がある。
- ・主体的に取り組むことができなかった児童に対して、個に応じた更なる手だてを追究していく必要がある。